

第2回 ひろしま西部街道交流会

H23. 9. 29

広島西部地域で活動する日本風景街道、夢街道ルネサンスなどの6団体が一堂に会し、地域再発見をテーマに、草津のまちを現地視察するとともに、各地区での取り組み状況や抱えている課題などについて話し合いました。H23年1月の第1回交流会に続く2回目の取組です。(参加人数約70名)

内 容

◇とき 平成23年9月29日(木) ◇ところ 広島市西区草津公民館
議事

□ 草津まち歴史の散歩道視察

□ 地域再発見の意見交換

□ 各団体の近況報告

※参加者

日本風景街道

R185さざなみ海道

(竹原市、東広島市、呉市、三原市)

夢街道ルネサンス

西国街道(東広島市)

二葉の里歴史の散歩道(広島市東区)

草津まち歴史の散歩道(広島市西区)

その他地域づくり団体

西国街道・海田市ガイドの会(海田町)

可部夢街道まちづくりの会(広島市安佐北区)

アドバイザー

岩崎誠氏 中国新聞論説委員

平木久恵氏 (有)グリーンブリーズ代表取締役



現地視察の様子



4班に分かれての現地視察。地域の再発見とガイドの工夫を学びました。

主な意見

「地域再発見」について

～草津の現地を通じ、地域の再発見と取り組みの工夫などについて意見交換～

- わがまちと街並みが似ている。連携した活動の可能性を探りたい。
- 船板の再利用(交流広場に活用)など、資源の保存利用として参考になった。
- ガイドについて、地元密着という印象を受けた。(地域住民に認知されている)
- 地域資源保存の問題と古民家再生の難しさ。



意見交換の様子



各団体の近況報告や課題について

～活動資金の問題や地域のガイドの工夫した取り組み等の紹介～

- 活動資金の問題は、知恵を出し合えばなんとかなる。
- バザーを実施したり、地域活動を応援してくれるスポンサーを見つけるなど。
- 行政に協力(協働)してもらうことも必要。区役所や公民館のバックアップ。
- ガイドの有料化。(少しでも頂くことで活動資金となる、有料だと聞き手も遠慮がいらぬ)
- ガイドにもストーリー性を持たせている。テーマを決めて実施することも良い。

アドバイザーより

- まちの中心的なもの(アンテナショップ的なもの)があると良い。
- 女性は、「しゃべる」、「食べる」、「買う」といった力を持っている。女性の心を引きつける工夫も必要。情報発信力にもなる。
- このような場の大切さ。PRは早めの情報提供。イベントにマスコミに来てもらうなど。
- 暮らしと歴史的遺産の係わりの重要性。我が町を500年後まで大切に(残す)そのような気持ちで活動することが大事ではないか。



アドバイザーの平木氏(左)と岩崎氏(右)

活発な意見交換により、予定終了時間をかなりオーバーしました。
次回(第3回)の開催について、満場の拍手で確認して閉会となりました。